

幟町地区公衆衛生推進協議会

◆ 幟町地区公衆衛生推進協議会健康教室

日時：毎月第1木曜日 午後2時から3時過ぎまで
(第1木曜日が祝日などと重なると変更されます)

場所：幟町集会所2階C室

幟町地区公衆衛生推進協議会では毎月健康学習を行っています
健康に関するビデオ鑑賞のあと お茶会、おしゃべり等

◆ 年2回の一斉清掃

(クリーン太田川7月下旬の日曜日、ごみゼロキャンペーン11月中旬の日曜日)

◆ 平和公園清掃

◆ 毎月1回の健康教室、毎週の歩こう会等

◆ 年1回の献血協力(10月下旬トリニティにて)

会員募集中です



● 新任の縫部です どうぞ宜しくお願いいたします

問い合わせ先 幟町地区公衆衛生推進協議会
幟町地区献血推進協力会
会長 縫部 高志
TEL.090-7130-0517

【創立70周年記念誌】発刊

幟町地区社会福祉協議会
創立70周年記念誌



幟町地区社会福祉協議会は、昭和28年に創設されて以来、令和5年に創立70周年を迎えることができました。

創設以来10年の節目の年に記念誌を発刊し、様々な出来事を記録してまいりました。今回は主に平成25年に創立60周年誌を発刊してからの10年間の、幟町地区の出来事を掲載しています。

この度の記念誌発刊にあたり、松井市長をはじめ各界の方々からのご祝辞をいただいております。

記念誌を閲覧希望の方がおられましたら、下記お問い合わせ先までお申し付けください。

幟町地区社会福祉協議会 事務局長 真志田 徹
TEL 082-211-0954

編集後記

幟町地区では、様々な行事・活動が催され、多くの方が運営にご尽力下さっています。そして、行事に参加される方は皆さん明るくお元気で、いい笑顔をされており、そのお姿を拝見するたび心が温かくなります。

まだ地域行事に参加されたことがない方は、是非参加してみてください。きっと楽しい日々を過ごせるようになると思います。お待ちしております。

幟町地区まちづくり委員会 事務局長 角田 優

福祉のまちのぼし No.21

[発行責任者] 幟町地区社会福祉協議会 会長 和田 高明 広島市中区鉄砲町9番5号 電話 082-223-5556 編集者/横田 泰行・真志田 徹・熊谷 浩・角田 優

幟町地区でも「ひろしまLMO」の認定を受けました!

幟町地区まちづくり委員会 会長 和田 高明

2023年度、広島市では、地域コミュニティを活性化し、活動を持続可能なものとするため、住民主体のまちづくりを推進する「ひろしまLMO」という制度を設けました。

「ひろしまLMO」に認定された組織は、地域の諸団体などのとりまとめや団体の枠を超えた取り組みを行い、地域のまちづくりを担っていくことになります。

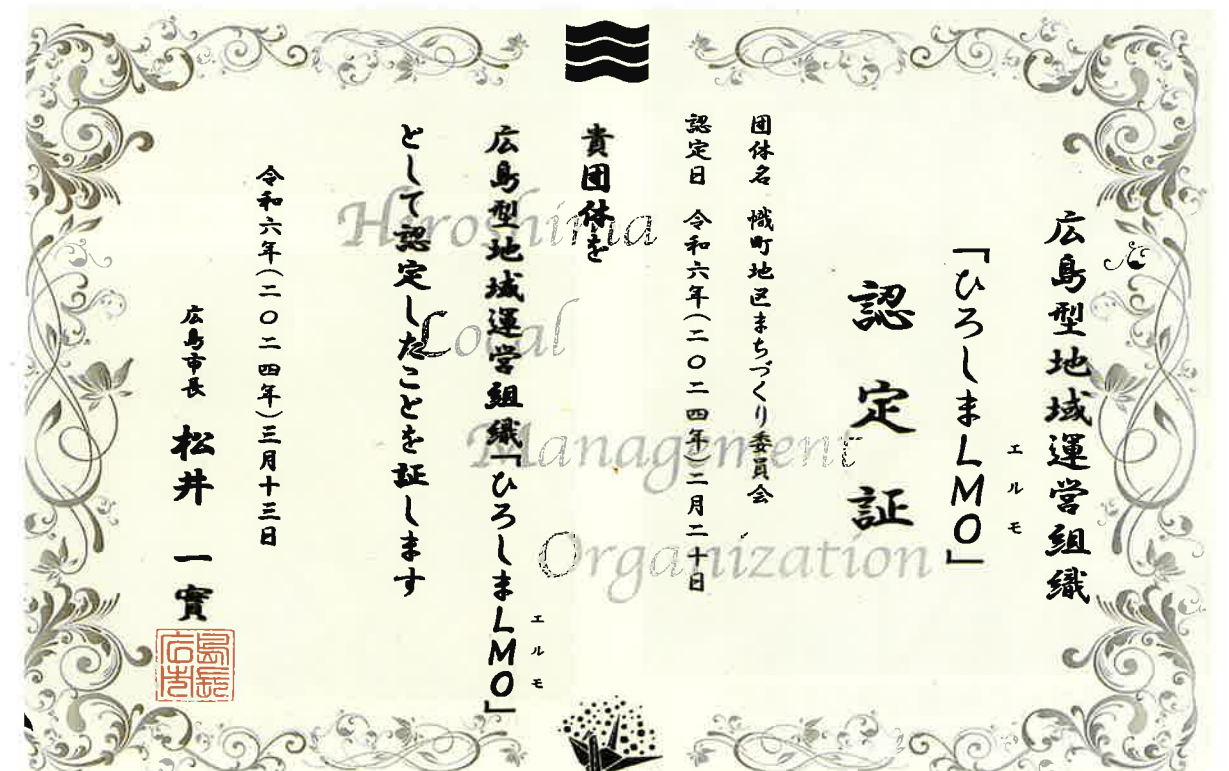
この幟町地区でも、30年以上前からある各団体長が話し合う「福祉のまちづくり委員会」という会議体を基礎とした組織「幟町地区まちづくり委員会」が、ひろしまLMOの認定申請をし、2024年2月20日に認定されました。

「地域住民が心身ともに豊かで、幟町への愛にあふれ、他者への思いやりを持てる幟町」の実現を目標に、これまで多くの方々のご尽力により培われてきた幟町地区の良き伝統・誇りを継承しつつ、幟町地区のさらなる発展に寄与していきたいと思っております。



<認定証交付式> 左：薬師寺 前中区長 右：和田会長

<ひろしまLMO認定証>



折り鶴の再生紙で作られています

幟町地区原爆慰霊祭を行いました

幟町地区連合町内会 会長 和田 高明

被爆当時、幟町小学校は現在の幟町公園の場所にあり、原爆投下により教職員、児童が犠牲になりました。

当時の教職員の一人で、後に幟町小学校の校長となる斗栴先生は自宅で被爆されました。

戦後は、幟町小学校で被爆した人たちのために活動を続けられ、幟町小学校の校長を経て退職された後、昭和56年の幟町公園の慰霊碑の建立にご尽力され、平成5年にお亡くなりになるまで幟町国民学校と駐屯部隊の合同慰霊祭の世話を13年間続けられました。

その意志を後世に伝えるべく、幟町地区では毎年6月に慰霊祭が行われています。

6月18日、地域団体団体長・町内会長の皆様と幟町小学校2年生の児童・教職員の皆様により、幟町公園にて、幟町地区慰霊祭が行われました（今年は2月にひろしまLMOに認定された、「幟町地区まちづくり委員会」と連携して開催）。

当日は、被爆当時、幟町小学校の在校生だった浅野間様に当時のお話をしていただき、子どもたちが真剣に聞いていました。

<慰霊祭の様様>



浅野間栄子さんの被爆当時のお話に聞き入る幟町小学校2年生たち

<慰霊碑の修繕>



左右の折り鶴架けのポールを新築しました



かすれていた文字を入れ直しました

健康ダーツ教室にご参加下さい！

幟町地区社会福祉協議会 会長 和田 高明

幟町地区社会福祉協議会では、昨年度、地域団体連携支援基金 事業費助成金で、ダーツ用具を購入しました。Afterコロナ禍で地域住民の皆さんから要望の多かった、体や頭を使った運動として、幟町地区地域包括支援センターの推薦で選びました。

購入の際にお世話になった、NICEダーツ倶楽部の方から、「認知機能および身体機能検査によりダーツが認知症予防および転倒予防に効果がある可能性が示唆されています」と伺いました。

そこで、老人クラブ、NICEダーツ倶楽部の協力で、今年度4月から毎月第2・4木曜日の午前10時から11時30分まで、幟町集会所の2階C室で『ダーツ教室』を開催しています。

ダーツは若い人がするものと思われるかも知れませんが、それは昔の話です。今は、負荷が少なく誰でも楽しめるスポーツとしてシニア世代にも人気です。

自分のプレーだけでなく、人のプレーを観るのも楽しく、みんな褒め合い、いつも笑顔の絶えない楽しい教室となっています。この幟町地区の取組は、幟町地区以外から視察があったり、テレビにも取り上げられたりしています。

幟町地区ではこれからも『ダーツ教室』を引き続き開催してまいりますので、奮ってご参加ください。



<プロの指導で上達>



<地域起こし推進課の担当者が視察>



<ダーツのお店で>